

事業名：地域緑化事業

環境課 主査（自然環境）

| | | | | | | | | |
|------|------------------|------|---|--------------|-----|------|------|-----|
| 政策 | 01 環境と調和する都市の構築 | | | | | | | |
| 施策 | 03 水とみどりの保全と創出活用 | | | | | | | |
| 基本事業 | 02 水とみどりの創出活用 | | | | | | | |
| 開始年度 | — | 終了年度 | — | 実施計画 事業認定 | 非対象 | 会計区分 | 一般会計 | 補助金 |

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市民植樹を実施するとともに植樹木の保育（病虫害防除）を行う。
- ・市民団体等が行なう緑化事業に必要な樹木・資材（苗木及び株、黒土、堆肥）等を提供し、緑を創出する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民との協働により地域緑化を推進し、みどりを育てる。

指標・事業費の推移

| 区分 | | 単位 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度当初 |
|-----------|----------------|----|---------|---------|---------|---------|
| 対象指標1 | 市民 | 人 | 121,705 | 121,385 | 120,802 | 120,802 |
| 対象指標2 | | | | | | |
| 活動指標1 | 治療養生及び病虫害防除樹木数 | 本 | 1,041 | 1,037 | 1,052 | 1,100 |
| 活動指標2 | 提供した樹木及び資材の額 | 千円 | 501 | 508 | 515 | 503 |
| 成果指標1 | 植樹参加者数 | 人 | 69 | 63 | 80 | — |
| 成果指標2 | | | | | | |
| 事業費(A) | | 千円 | 1,861 | 1,506 | 1,764 | 1,947 |
| 正職員人件費(B) | | 千円 | 5,217 | 2,806 | 2,735 | 5,477 |
| 総事業費(A+B) | | 千円 | 7,078 | 4,312 | 4,499 | 7,424 |

| | 事業内容（主なもの） | 費用内訳（主なもの） |
|------|---|---|
| 25年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民植樹の実施 ・植栽樹木の治療及び病虫害防除 ・自治会等が実施する植樹に対する苗木等の提供 ・石狩川300万本植樹inえべつの開催（実行委員会方式） | <ul style="list-style-type: none"> ・市民植樹植栽委託 264千円 ・植栽樹木の治療及病虫害防除委託 470千円 ・自治会等への苗木、資材の提供 515千円 ・石狩川300万本植樹大型バス借上 105千円 |

| | |
|---|--|
| 事業を取り巻く環境変化 | |
| 事業開始背景 | |
| | |
| 事業を取り巻く環境変化 | |
| みどりは快適な環境づくりやまちづくりに欠かせないものとして市民の関心が高まりを見せている。 | |

| | |
|---|----------|
| 平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点） | |
| (1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？ | |
| 妥当である 妥当性が低い | 理由 根拠 |
| 市緑化推進条例の理念を進めていくために、市民団体等が行う植樹を支援していくことは妥当。 | |
| (2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？ | |
| 貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業 | 理由 根拠 |
| 緑環境を創出する一つの手法であり、水と緑の創出活用という基本事業に貢献している。 | |
| (3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？ | |
| 上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない | 理由 根拠 |
| 花のある街並みづくり運動の広まりと連携し、市内各所で緑を創出している。 | |
| (4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？ | |
| 成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし | 理由 根拠 |
| 市民の手による植樹は、緑への愛着を深めることにつながるため、今後の市民植樹等への参加を通して、成果の向上が期待できる。 | |
| (5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？ | |
| ある なし | 理由 根拠 |
| 公共施設に植樹していくものであるが、市民や学校などとの協働を維持していくには一定のコストは必要。 | |